

2018年度 苦情・事故状況

<事故>

| 日時  | 内容   | 結果   | 検証及び課題   |
|-----|--|--|--|
| 9月  | ・室内を走っており、他児とぶつかり転倒。本児の上に他児が覆い被さる形となり、床で口元を打つ。     | ・下唇と左上の中切歯・側切歯の歯茎からの出血あり。歯のぐらつきは認めず。圧迫止血と冷却後、保護者に連絡を入れて受診する。       | ・排泄交換も同時に行っており、複数の保育者はいたが行ったり来たりしており、落ちて遊んでいる所には保育者がいなかった。状況を見て、子どもが一番多い所に常に目を向けておくようにする。<br>・引き続き、室内は走らないことをわかりやすく繰り返し伝えていく。  |
| 10月 | ・排泄交換の椅子(高さ10cm)に立ったり座ったりしていた際に、手を滑らせて床で口元を打つ。     | ・上唇の裏・前歯の歯茎から少し出血あり。歯のぐらつきは認めず。圧迫止血と冷却後、保護者に連絡を入れて受診する。            | ・排泄交換時に、子どもが座っておむつやズボンを書く為の椅子で、立ったり座ったりすると危険に繋がる事が予測される。本児の行動に気付いた時点で、転倒する危険がある事を伝える等、危険予測を早目に行うようにする。   |
| 10月 | ・公園内の腰掛け椅子(高さ約40cm)からジャンプをして降りようとした際に、足を滑らせて顎から転倒。 | ・顎のすりむきと打撲、下唇より出血。歯茎からの出血やぐらつきは認めず。顎の出血をガーゼにて圧迫止血後、保護者へ連絡を入れて受診する。 | ・やってみたいという意欲が出てくる時期でもあるが、思いと体が連動しないと大きな怪我に繋がる。一人ひとりの発達段階や運動能力をよく理解した上で、見守るのか援助をするのかを判断していく。<br>・保育者の数は十分に足りていたが、いつも以上に見守りを必要とするあそびを展開する時には、周りにフォローを呼ぶ等安全を考えた状況判断を心掛けていく。 |

<苦情>

| 日時 | 内容    | 結果 | 検討及び課題 |
|----|-------|----|--------|
|    | ・特になし |    |        |

2019年3月31日現在